



2019年11月25日

## SUPER GT×DTM 特別交流戦、レース2でデュバルが3位表彰台を獲得

- 富士スピードウェイでDTMとSUPER GTが史上初の競宴、スリリングなバトルが大観衆を魅了
- レース1でブノワ トレルイエがDTM勢最高位でフィニッシュ
- レース2ではロイック デュバルがレース序盤のパンクにもかかわらず、アウディ勢最高位でフィニッシュ。4台のAudi RS 5 DTMすべてがトップ10フィニッシュ

2019年11月23日(土)・24日(日)、富士スピードウェイで、SUPER GT×DTM 特別交流戦が開催されました。ドイツのDTMマシンと日本のSUPER GTマシンが戦うこの「ドリームレース」のレース1で、Hitotsuyama Racingとアウディジャパンのサポートを受けたアウディのカスタマーチーム WRT Team Audi Sport から参戦したブノワ トレルイエが、DTMドライバー最高位の6位、レース2ではAudi Sport Team Phoenix (アウディスポーツ チームフェニックス) のロイック デュバルが3位表彰台を獲得しました。

### レース1：11月23日(土)

トレルイエがステアリングを握る Audi RS 5 DTMは、レース終盤に導入されたセーフティカーを巧みに利用しました。フレッシュタイヤを履いたトレルイエは、レース再開のローリングスタートで一気にポジションを上げ、DTM勢最高位の6位でフィニッシュラインを通過しました。

ルマン24時間レースで優勝経験があり、世界耐久選手権でもチャンピオンに輝いているトレルイエは、今回のレースに、アウディジャパンとHitotsuyama Racing (ヒトツヤマレーシング) のサポートを受けたアウディのカスタマーチーム WRT Team Audi Sport から参戦。彼は、「最高のレースでした。Audi RS 5 DTMで参戦する最初のレースを本当に楽しむことができました。再スタート後は、素晴らしいペースで走行できました。3年のブランクがあったので、復帰後すぐにこのような結果を出せるとは思っていませんでした。」とコメントしています。

予選で苦戦して13番グリッドからスタートした Audi Sport Team Rosberg (アウディスポーツ チームロズベルグ) のレネ ラストは、レース中盤には6番手までポジションを上げて、富士スピードウェイに集まった大観衆を沸かせました。しかし、その後タイヤの摩耗により、最終的に8位でチェッカーを受けました。

Audi Sport Team Abt Sportsline (アウディスポーツ チームアプト スポーツライン) のマイク ロッケンフェラーは、トレルイエとの接触にもかかわらず、13位 (DTM勢の3番手) でフィニッシュしました。

Audi Sport Team Phoenix のロイック デュバルは、雨の中で行われた予選で健闘し、2番グリッドを獲得しました。しかし、デュバルは、ウォームアップ途中でスリップして、コースアウト。マシンに大きなダメージを負い、レースの欠場を余儀なくされました。デュバルのAudi RS 5 DTMは、日曜日のレース2の参戦のために修理されました。

## レース2：11月24日（日）

激しいバトルとオーバーテイクが繰り広げられ、最終結果は写真判定となったこのレースは、富士スピードウェイに集まった大勢のファンを沸かせました。この日の主役の一人、アウディドライバーのロイック デュバル（Audi Sport Team Phoenix）は、レース序盤でパンクしながらも、センセーショナルな巻き返しを見せて表彰台を獲得しました。

Audi RS 5 DTM を駆るデュバルは、午前中に開催された雨の予選でポールポジションを獲得しました。ドライコンディションとなった決勝レースで、元 SUPER GT チャンピオンであるデュバルのマシンは、7周目に左リヤタイヤがパンクし、想定外のピットストップを強いられます。その後、デュバルは、合計3回導入されたセーフティカーの1回を使用して、別のタイヤ交換。この賢明な判断が功を奏して、最終ラップでは数多くのライバルをオーバーテイク。見事に3位でフィニッシュして、ファンから大きな声援を受けました。

7周目にパンクしたときに、最後までポジションを落とすにもかかわらず、見事なパフォーマンスで表彰台を獲得したデュバルは、「何というレースでしょう！ドライコンディションでは、僕たちのマシンは SUPER GT のマシンほど速くなく、さらにレース序盤ではパンクしてしまいました。しかし、良いタイミングでセーフティカーが導入されたおかげで、なんとか巻き返すことができました。最後の2周は激しいバトルとなり、完全にサイドバイサイドの戦いとなりました。ここ富士には、素晴らしいショーを見せて、大観衆を楽しませるために来ました。その目的は達成できたと思います。今日は、素晴らしいレースができました」とコメントしています。

このレース2では、マイク ロッケンフェラー（Audi Sport Team Abt Sportsline）が7位、レネ ラスト（Audi Sport Team Rosberg）が9位、ブノワ トレルイエ（WRT Team Audi Sport）が10位に入り、4台の Audi RS 5 DTM マシンが、すべてトップ10でフィニッシュしました。現在 DTM チャンピオンのレネ ラストは、レースの大半で表彰台争いをしていましたが、富士の長いストレートエンドでパンクして、デュバルよりもさらに多くのタイムをロスし、ポジションを落としてしまいました。

Audi Motorsport 代表 ディーター ガスは、次のように述べています。「レース1では優勝争いに加わることはできませんでした。SUPER GT マシンは、私たちのマシンより速く、タイヤの摩耗も少なかったので、難しいレースを強いられました。それでも、トレルイエが DTM 勢最高位でフィニッシュし、数多くのスリリングなバトルを展開しました。とくに、レース終盤のセーフティカー導入後は、見ごたえのあるレースとなりました。トレルイエのパフォーマンスには、たいへん満足しています。彼は、レースの最後にタイヤのアドバンテージを有効に利用しました。

またレース2では、数多くのアクシデントが発生し、非常にエキサイティングなレースとなりました。タイヤの問題が発生したにもかかわらず、非常に良い結果を残すことができました。最終ラップでのマルコ ウィットマンとデュバルの戦いは、センセーショナルとしか言いようがありません。私にとって、彼の走りは2位に値するものでした。1秒のペナルティを課した決定は理解に苦しみます。今回の富士特別交流戦は、Class 1（クラス1）にとって完璧なプロモーションとなりました。今後は、ベルギーのゾルダーで2020年4月に開催される DTM シーズンの開幕戦に向けて準備に入ります。もちろん、次の「ドリームレース」も楽しみにしています。今週末のレースで、闘争心に火がつかました」

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。